



職場のKY活動 **マンネリ化** チェックリスト

あなたの職場のKY活動はマンネリ化していませんか。誰一人ケガをしない、させないためには、管理監督者から作業員まで、職場のみんなが「よし、やろう」という活動でなければなりません。KY活動について経営者、管理者、監督者が理解し率先垂範しなければ、やらされ感が生じて、テーマや内容がいつも同じになるなど、何のためのKYかわからなくなります。これをマンネリ化と呼び、「KYはやっているが事故が減らない」「KYのテーマと同じ内容の事故が起こっている」ということになってしまいます。

あなたの職場はいかがでしょう。職場の状況と、管理監督者の問題点をこのチェックリストでとらえ、みんなで話し合っ、安全先取りの職場をつくりましょう。



1 みんなであいさつをしていますか

- ① はっきり聞こえる声でしている
- ② お互いの顔を見てしている

ハイ	イイエ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

2 朝・終礼(ミーティング)のようすはどうか

- ① みんなが参加して毎日やっている
- ② 健康状態を問いかけて確かめて配慮している (目が赤いけどどうしたの? など)
- ③ リーダーの一方的な伝達の場ではなくメンバーも発言している
- ④ ヒヤリ・ハットを報告している
- ⑤ 指差し唱和やT&Cなどで一体感を高めている

ハイ	イイエ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3 作業指示はどうしていますか

- ① 特に「なぜ」「何を」「どのように」を踏まえて指示している
- ② 「わからないことはないか?」と作業員の疑問点に答えている
- ③ わからないことがあれば指示者に遠慮なく質問させている
- ④ 指示受け者に5W1Hで復唱させて指示が誤りなく伝わったことを確かめている

ハイ	イイエ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

